

# 木更津市立小中学校 空調設備運用の指針

令和元年11月  
木更津市教育委員会

## 目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 本指針について	
	(2) 環境負荷低減に向けて	
2	稼働期間等・・・・・・・・	2
	・稼働時期	
	・稼働気温と設定温度	
	・稼働時間	
	・使用の特例	
3	使用する際の注意点・・・・・・・・	3
	(1) 体調管理	
	(2) 換気	
	(3) 運転の開始について	
	(4) その他	
4	操作について・・・・・・・・	4
	(1) 運転開始や設定，運転終了時の操作	
	(2) 運転終了時の確認	
	(3) 自動運転機能	
	(4) 集中管理リモコンの活用	
	(5) その他	
5	効果的な利用・・・・・・・・	5
	(1) 夏季（冷房）	
	(2) 冬季（暖房）	
6	日常管理・・・・・・・・	6

空調設備運用基準（教室掲示用）

# 1 はじめに

## (1) 本指針について

近年の夏は、全国的に記録的な猛暑に見舞われ、熱中症をはじめ、様々な面で大きな影響をもたらしています。

そこで本市としては、熱中症の予防と児童生徒が意欲を持って学べる快適な環境を整えるため、普通教室等にエアコンを整備し、令和元年度から全小中学校において稼働を開始します。

とはいえ、エアコンは多くのエネルギーを消費し、地球環境に負荷をかける設備です。常に省エネルギー（以下、「省エネ」という）を意識しながら、地球環境に対する配慮も重要です。

本指針は、児童生徒の健康管理と地球の環境保護の双方を考慮し、適正かつ効率的なエアコンの運用を図るためのものです。

## (2) 環境負荷低減に向けて

空調設備を導入することは、快適で充実した学習環境を提供する一方で、室外機等の排熱によるヒートアイランド現象や温室効果ガス(二酸化炭素等)の排出量が増えるなど、環境への負荷も危惧されるところです。

木更津市では、平成15年3月に「木更津市環境基本計画」、平成28年3月には「第2次木更津市環境基本計画」を策定し、望ましい環境像である「未来につなぐ 環境にやさしいまち きさらづ」の実現を目指しています。

各学校においては、本指針の運用を通して、児童生徒及び教職員一人一人が省エネや環境保全への意識を高められるようにご指導をお願いします。

## 2 稼働期間等

	夏季（冷房）	冬季（暖房）
稼働時期 （原則）	6月から9月まで	12月から3月まで
稼働気温と 設定温度	教室内の気温が <b>28 度以上</b> であり、暑さが継続すると見込まれるとき。 ★ <b>設定温度 28 度程度</b> で使用してください。	教室内の気温が <b>17 度以下</b> であり、寒さが継続すると見込まれるとき。 ★ <b>設定温度 17 度程度</b> で使用してください。
稼働時間	<p>原則として</p> <p>①普通教室等：授業時間内 ②職員室等：勤務時間内</p> <p>ただし、連続してその教室を使用する場合は、効率的に稼働をさせるため、出入口の開閉を極力抑えながら、休み時間中の稼働も可能とします。</p> <p>★業間休みや昼休みについては、室内の気温を考慮しながら弾力的に対応してください。</p> <p>★清掃時間は、空調を停止して、窓を開けてください。 （粉じんやごみで空調機のフィルターが詰まりやすくなります。）</p> <p>★授業時間外に空調の稼働を必要とする場合は、学校長の判断で使用してください。</p>	
使用の特例	異常気象等により、児童生徒及び教職員等の健康を損なう恐れがある場合は、学校長の判断により使用できることとします。	

### 【参考】

「学校環境衛生基準」（文部科学省）では、教室等における温度は「17度以上、28度以下であることが望ましい。」とされています。



### 3 使用する際の注意点

#### (1) 体調管理

冷房に伴う倦怠感・体の冷え・頭痛などの体調の悪化に注意してください。特に、風が直接当たらないように風向等を工夫してください。プール授業後で髪が濡れていたり、汗をかいた状態で冷風を受けると、急激に体温が下がることがあります。

児童生徒の体調ならびに学習環境等を考慮して、 unnecessaryな稼働は避けてください。

#### (2) 換気

教室内の環境保持のため、定期的に扉や窓を開け、十分な換気に努めてください。

また、掃除の時間中は粉じんなどによる故障を避けるため、エアコンを停止し、窓を開けて掃除をしてください。

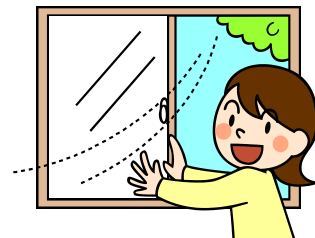
#### (3) 運転の開始について

エアコンの稼働については、各階ごとに10分程度時間をずらして運転を開始してください。

一斉に稼働することがないように気をつけてください。

#### (4) その他

エアコンのない特別教室などでの授業については、学習内容や気象条件を考慮して、エアコンのある普通教室で行うなど、柔軟な対応をお願いします。



## 4 操作について

### (1) 運転開始や設定，運転終了時の操作

エアコンの稼働や停止，設定等は教職員が操作を行ってください。  
取扱説明書をよく読んで，効率的な稼働をお願いします。

### (2) 運転終了時の確認

教職員は，エアコンの停止忘れに気をつけてください。また，教職員の退勤時には，必ず全教室のエアコンが停止していることを確認してください。

### (3) 自動運転機能

エアコンの稼働時間は，月曜日から金曜日の7時40分から16時までに設定されています。自動運転中でも，後から操作する職員室の集中管理リモコンや，教室に設置されているリモコンが優先されます。

運転の開始は，各階10分ずらして稼働するように設定されています。ただし，休日(平日)も稼働しますので，休前日に必ず解除するようお願いします。

自動運転機能については，環境条件等を考慮して，弾力的に運用してください。

### (4) 集中管理リモコンの活用

集中管理リモコンによって，以下の操作が可能となります。

- 各教室の空調設備の一括操作
- 各教室の空調設備の遠隔運転及び停止
- 自動運転機能の稼働，解除

稼働期間や運転時間の管理，切り忘れの確認等に活用できます。

### (5) その他

ガス式空調設備の学校における冷房・暖房の切り替えは，各階ごとに設置されている親機で行います。集中管理リモコンや，教室に設置してあるリモコンでは行えませんのでご注意ください。

## 5 効果的な利用

### (1) 夏季（冷房）

#### ①カーテンの利用

扉や窓を閉め、状況に応じてカーテンを閉めてください。直射日光や外気熱を遮断し、効率よく教室内を冷やすことができます。

#### ②設定温度の調整

運転開始時は、運転中より多くのガスや電気を使います。省エネを考えて運転の入・切を繰り返すと、かえって多くのガスや電気を消費することになります。部屋が十分冷えたと感じたら、設定温度の調整をして冷えすぎを防止してください。

#### ③扇風機の併用

冷たい空気は教室の下の方にたまりがちですので、扇風機を併用して冷気を循環できます。風向きを調節してムラなく冷やしてください。

#### ④風量の調整

暑いと感じたら風量を強くしてください。体感温度が下がり、涼しく感じます。設定温度を下げるよりも、風量を強くする方がガスや電気の消費が少なく省エネにつながります。

### (2) 冬季（暖房）

#### ①カーテンの利用

カーテンを開けて日光を取り入れて、教室を温めてください。教室を温めておくことで暖房効率が上がります。逆に、天候の悪い日はカーテンを閉めることにより保温することができます。

#### ②設定温度の調整

夏季と同様です。部屋が十分暖まったと感じたら、設定温度の調整をして暖めすぎを防止してください。

#### ③風量の調整

夏季と同様です。設定温度を上げるよりも、風量を強くする方がガスや電気の消費が少なく省エネにつながります。

## 6 日常管理

エアコン（室内機，室外機，配管等）を破損することがないように大切に  
取り扱ってください。また，児童生徒にもその旨を十分に周知してください。

エネルギー効率の低下を防止するため，室外機の周辺には物を置かないよ  
うにしてください。

※室外機の周辺に物を置くと，ショート・サーキットといい，室内の熱を  
交換した熱風が再び室外機に取り入れられ，極端にエネルギー効率が低  
下して冷房が効かなくなってしまう。ショート・サーキットは故障  
の原因にもなりますので注意してください。



## 空調設備運用基準

	夏季（冷房）	冬季（暖房）
稼働期間 （原則）	6月から9月	12月から3月
使用の目安	教室内の気温が28度以上であり、暑さが継続すると見込まれるとき。	教室内の気温が17度以下であり、寒さが継続すると見込まれるとき。
設定温度	28℃程度	17℃程度
稼働時間	普通教室等	原則、授業時間内での使用とします。 ただし、連続してその教室を使用する場合は、休み時間中の稼働も可能とします。 業間休みや昼休みは弾力的に対応してください。
	職員室等	原則、勤務時間内とします。
運転操作	教職員が行ってください。	
効果的な 利 用	<p>（共通）カーテンを上手に利用しましょう。</p> <p>（共通）運転を停止するより温度設定で調整しましょう。</p> <p>（共通）設定温度を変える前に風量を調整しましょう。</p> <p>（冷房）風向きは水平にしましょう。</p>	
注 意 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷房に伴う子どもたちの体調の悪化（倦怠感・体の冷え・頭痛など）に注意してください。（プール後の使用や風向き等に注意してください）</li> <li>・ウイルスの蔓延や浮遊粉塵に対する配慮として、定期的にエアコンを停止のうえ換気をしてください。</li> </ul>	
日 常 管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室外機の周りに物を置かないでください。</li> </ul>	
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象等により、児童生徒及び教職員等の健康を損なう恐れがある場合は、学校長の判断により使用できることとします。</li> <li>・エアコンのない特別教室などでの授業については、学習内容や気象条件を考慮して、エアコンのある普通教室で行うなど柔軟な対応をお願いします。</li> </ul>	

